

第 42 回 真庭市地域公共交通会議 議事録

日時：令和 6 年 2 月 26 日（月）

午前 10 時～正午

場所：市役所 3 階 大会議室(2)(3)

1 出席者

【委 員】 太田会長、長田委員、若本委員、初岡委員、横辺委員、眞柴委員、前田委員、國米委員

【専 門 員】 吉田専門員、池上専門員、内田専門員

【事 務 局】 池田生活環境部長、矢田部くらし安全課長、三船主幹、西主幹、柿本主事、今石主事

2 公共交通会議議事概要

（冒頭）矢田部課長挨拶

太田会長挨拶

太田会長： お集まりいただき、ありがとうございます。

人口減少社会の中で、どのように地域の暮らしの足を確保していくかが問題となるが、移動の自由というのは 1 つの基本的な人権であり、少ない人口の中でも交流していくことが地域の源になると思う。公共交通は環境問題や個人の経済負担にも関係してくるため、EV 車の導入やチョイソコの運用等を行い、個人の可処分所得を上げていく必要がある。一方で、約 1 億 4 千万の赤字を抱えながら財政負担しないといけないが、それでもより便利にしながら、なんとか赤字を減らしていく努力をしなければならない。JR についても、株の件で全国から問い合わせをいただいたり、市民の方でも、自分も買ってみようかという人が出てきている。本日は皆さんの知恵もお借りしながら、公共交通をより良くしていくために、一緒に考えていけたらと思っています。よろしく願います。

●報告事項

（1）第 4 1 回真庭市地域公共交通会議決議結果について【資料 1】

（2）チョイソコまにわについて【追加資料】

太田会長： 報告事項（1）・（2）について事務局より説明を。

西主幹： ～一括説明～

太田会長： 報告事項について何か意見はあるか。特にチョイソコについて。

（意見なし）

●審議事項

（1）真庭市地域公共交通計画一部改訂（案）について【資料 2】、【別添 1】

太田会長：審議事項(1)について事務局より説明を。

西主幹：～説明(1)～

若本委員：計画をしていく中で、今回のように全体的に確認できるような計画であればわかりやすくいい。

太田会長：今までが簡単すぎたものもある。

吉田専門員：令和 7 年度の目標値は、令和 5 年度の数値を維持していくという認識でよろしいか。

西主幹：おっしゃるとおり。令和 6 年度の実績がまだないことから、令和 5 年度の数値を用いている。

☆審議

太田会長：では、この事項について承認いただける方は挙手をお願いします(一括)。

(挙手多数)

太田会長：ありがとうございます。出席全員賛成により、承認されたものとします。

●審議事項

(2) 森の芸術祭フリーパス(仮称)について【資料3】、【資料3-1】

太田会長：続いて、審議事項(2)について事務局より説明を。

三船主幹：～説明(2)～

眞柴委員：森の芸術祭において、懸念されるのはアクセス面である。フリーパスが販売されるということで、観光局の方でも対応している。tabiwa も販売。

三船主幹：tabiwa の説明については、資料 3 の一番下に簡単にですが記載させていただいている。

眞柴委員：瀬戸内芸術祭でもこの tabiwa は利用させていただいている。

太田会長：アプリの対応はどこが行うのか。また、まにわくんに導入した場合の窓口は。

三船主幹：アプリの対応は JR が行うが、窓口についてはくらし安全課が対応する。協議は随時行っている。

太田会長：真庭市は郵便局と連携し、マイナンバーを管理したり、まにこいんについても、銀行と連携しながら真庭市内で経済を回そうとしている。まにわくんにキャッシュレス決済を導入しているが、ただつくるだ

けでなく、いかに広げるかの視点を常に持ってほしい。森の芸術祭についても、実行委員会を設置し、文化や芸術について継続的に発展させていけるようにする。

☆審議

太田会長：では、この事項について承認いただける方は挙手をお願いします(一括)。

(挙手多数)

太田会長：ありがとうございます。出席全員賛成により、承認されたものとします。

●審議事項

(3) 共助による“地域のあし”構築事業(中和地域)について【資料4】

太田会長：続いて、審議事項(3)について事務局より説明を。

三船主幹：～説明(3)～

若本委員：市民の方はスクールバスとして運行している時間帯でも乗ることは可能か。

三船主幹：可能だが、予約の際に多少の時間調整は必要になる。地域内は15分ほどでまわるため、問題ない。

太田会長：その問題がないことは地域内でも確認しているか。

三船主幹：確認済み。

初岡委員：そのスクールバスは誰が乗ってもいいのか。

三船主幹：誰が乗っても問題ない。あくまでコミュニティバスという位置づけであるため、コミュニティバスに子どもたちが乗っていると思っていただければ。

國米委員：中和地域は、地域力や福祉力が高いため、福祉からの地域づくりも公共交通を通じて行っていただけらと思っている。

☆審議

太田会長：では、この事項について承認いただける方は挙手をお願いします(一括)。

(挙手多数)

太田会長：ありがとうございます。出席全員賛成により、承認されたものとします。

● 審議事項

(4) まにわくん運行内容の変更について【資料5】

太田会長：審議事項(4)について事務局より説明を。

西主幹：～説明(4)～

若本委員：「リバーサイドホテル」バス停廃止に伴い、350m歩くのは、お年寄りの方だと苦勞するのではないか。

三船主幹：この「リバーサイドホテル」バス停は、ホテルの敷地内にあるため、ホテルの管理をしている事業者と協議した結果、現状必要ないという確認をした。

太田会長：地域内での利用者がどのくらいいたかが重要である。

三船主幹：地域内での利用はない。

池田部長：まわりには家が1軒しかなく、上市瀬や開田に集中しているため、地域内での利用はない。

太田会長：グンゼ前や久世校地前バス停はどうなるのか。

三船主幹：中鉄北部バスのバス停を兼ねており、協議はしたが、すぐには対応できないと言われたため、継続。

☆ 審議

太田会長：では、この事項について承認いただける方は挙手をお願いします(一括)。

(挙手多数)

太田会長：ありがとうございます。出席全員賛成により、承認されたものとします。

● 審議事項

(5) コミュニティバス運行車両整備計画について【資料6】、【別添2】、【別添3】

太田会長：審議事項(4)について事務局より説明を。

西主幹：～説明(5)～

若本委員：実際の走行距離や運行状況を見ながら計画していくのは良いと思う。

太田会長：EV化はまだ難しいか。

池田部長：実際にEV車に乗ってみたが、坂に弱く、乗車人数が少ないことがある。これらが改善されれば、検討の余地有り。

☆審議

太田会長：では、この事項について承認いただける方は挙手をお願いします(一括)。

(挙手多数)

太田会長：ありがとうございます。出席全員賛成により、承認されたものとします。

●その他

池上専門員：～岡山県パーソントリップ調査説明～

若本委員：高齢者の足、特にこれから免許返納等していく方たちのことを常に頭に入れながら計画を立てていてほしい。

太田会長：JRの乗り換えが不便であることや医療機関については真庭市に権限がなく、県にあること等の問題が公共交通について考えるうえでつきまとっている。(運転手の確保については)2種免許の補助等のやるべき事はしてきている。

若本委員：(運転手の)アパートや女性の更衣室等の考慮すべき点が事業所目線でも多くある。

●閉会

矢田部課長：長時間にわたってご協議いただきありがとうございました。閉会にあたりまして、長田分科会長からご挨拶をいただきます。

長田委員：公共交通について、色々な方から話を聞かせていただいたが、チョイソコについては、今一步市民の方が理解できていないと感じている。サロン等でより丁寧に説明し、これから乗るという場合でも、登録してもらうことがまずは必要になると思う。委員の皆さんからは的確な審議をしていただき、スムーズに進行できましたこと、心よりお礼申し上げます。今後は実際の数字が上がってくるようにご審議いただけますようお願いいたします。ありがとうございました。

(閉会)